

平成 17 年 3 月 8 日

定期検査中の 3 号機タービン建屋における海水の漏えいについて

当所 3 号機（沸騰水型、定格出力 110 万キロワット）は、平成 16 年 12 月 2 日より第 13 回定期検査を実施しておりますが、平成 17 年 3 月 7 日午前 3 時 46 分頃、タービン建屋復水器^{*1}付近の床への漏えいを示す警報が発生しました。当社当直員が、現場にて、同建屋地下 2 階の循環水系^{*2}（C）配管点検用マンホール仮設蓋から床に海水が溢れ、漏えいしていることを午前 4 時頃確認いたしました。

漏えいは、当該配管上流に設置してある循環水ポンプ^{*3}（C）の吐出弁を閉めたことにより止まりました。

漏えいした海水（非放射性）は、約 130 キロリットルでした。

調査の結果、当該ポンプの取水のために海水を流し込む循環水ポンプ室に大量の海水が流入しないよう堰止め用の鋼製板で堰止めをしておりますが、当該鋼製板と構造物の間から海水が当該ポンプ室へ流入し、当該室内から循環水系の配管へ流れ込んだことにより、配管点検用マンホール仮設蓋（密閉性なし）から海水が溢れ出たことが分かりました。

今後、堰止め用の鋼製板から海水が流入した原因について、詳細に調査いたします。

当該事象による放射能の影響はありません。

以 上

* 1 復水器

タービンを回した後の蒸気を海水により冷却し水に戻す機器。

* 2 循環水系

タービンを回した後の蒸気を復水器で冷却凝縮する際の冷却水としての海水を供給する系統。

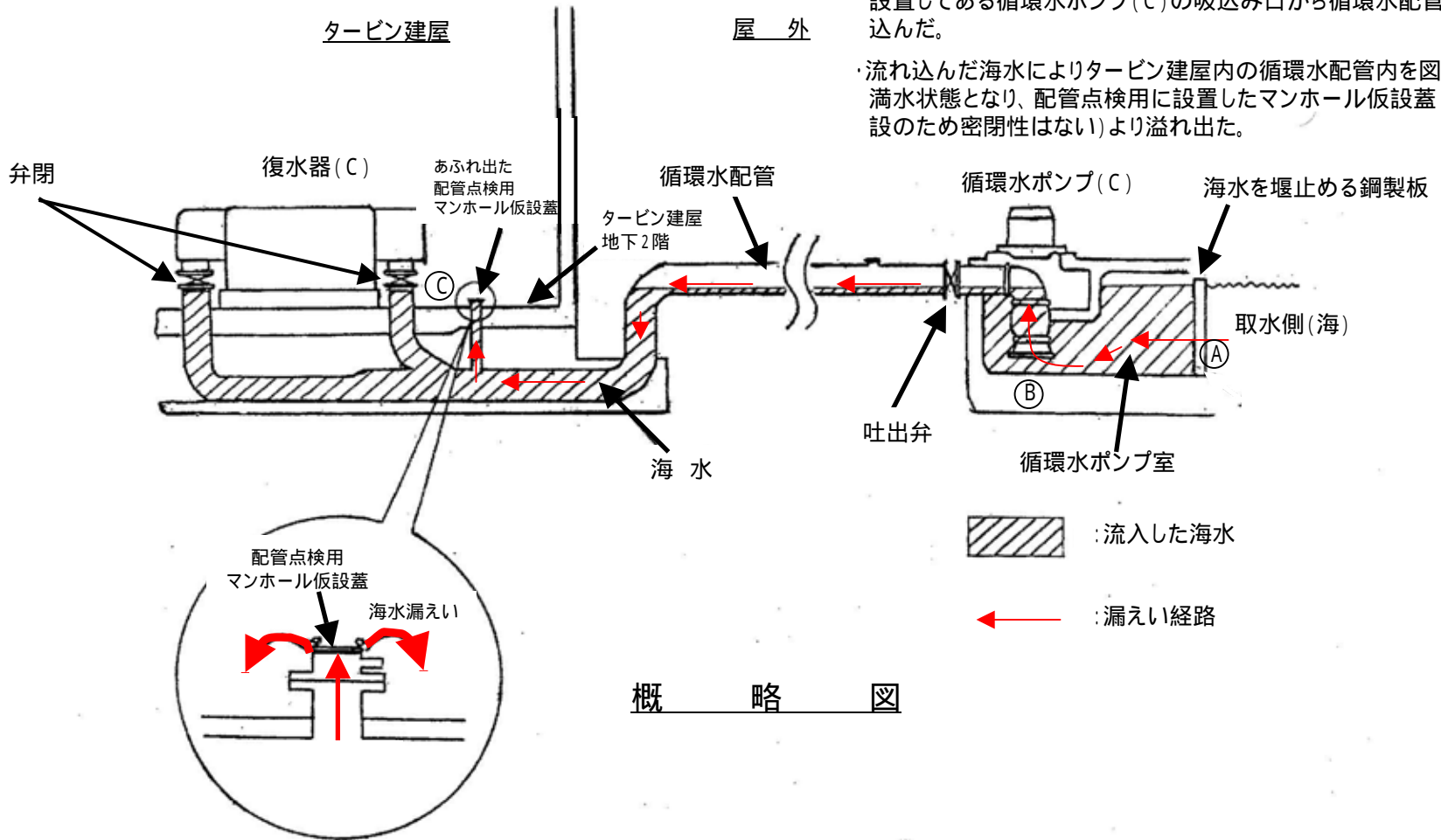
* 3 循環水ポンプ

循環水系に海水を送り込むためのポンプ。

「当社原子力発電所における不適合事象の公表方法の見直しについて」（平成 15 年 11 月 10 日お知らせ済み）における、区分 に該当するものとしてホームページに掲載したものです。

(解説):海水がマンホールより溢れ出た経路について

- ・海水は矢印(←)のように取水側(海)から堰止め用鋼製板のシール部(密閉部)①より漏えいし、循環水ポンプ室内に流入した。
- ・漏えいした海水の水位は循環水ポンプ室で上昇し、図②のように設置してある循環水ポンプ(C)の吸込み口から循環水配管に流れ込んだ。
- ・流れ込んだ海水によりタービン建屋内の循環水配管内を図のように満水状態となり、配管点検用に設置したマンホール仮設蓋③(仮設のため密閉性はない)より溢れ出た。



概略図